



# 受注体制の再構築と商標登録で トラック内装商品のブランド化を図る

## 課題

### 被災で業務休止中に オリジナル商品の模造品が増加

トラックを仕事場とするドライバーは、自分のトラックを「城」と表現するという。宮城県石巻市で1992年に創業した夢街工場は、その「城」を足元から天井、運転席から助手席まで装飾する内外装アクセサリの製造販売を行うカスタムショップだ。ダッシュマット、シートカバー、ドアハンドルカバー、カーテンなどをドライバーの要望、車種に応じてフルオーダーで1品ずつ手づくりで製造する。

主力商品は、同社オリジナル着せ替えアクセサリ「つけまシリーズ」の「つけまピラー」。トラックのピラーとよばれる窓柱に取り付ける車内アクセサリだ。既存の内装では、車両に接着施工を施していたが、マジックテープによってワンタッチで着脱できるのが特徴だ。

開業当初は自動車内装張り替え加工、シート張り替え、インテリア全般などの「車両内装」、ペイントやボディ改造、板金塗装などの「車両外装」、車両販売、キャンピングカーの制作販売、自動車内装資材販売、車両看板製作などの事業を行っていたが、東日本大震災により店舗と機材を失い一時事業休止に追い込まれた。

そこで、長年生地従来の貼り内装に携わってきた経験から、独自の発想で開発した「つけまピラー」を開発し、ドライバー間のクチコミやSNSで話題を集め、ヒット商品となった。

しかし、数年前からつけまシリーズの模倣品が市場に出回り始め、企業のブランド力とオリジナル商品を保護する必要がある。

## 支援

### 商標登録出願申請と 車両看板部門の再開を

ブランドの確立を図り、競合他社による模造品の横行を防ぐため、石巻市牡鹿稲井商工会の稲井支所では、ただちに屋号「夢街工場」と、オリジナル商品名「つけまピラー」の商標登録出願の支援を行った。

続いて、内装と車両看板をトータルコーディネートしたいと顧客から要望の多かった車両看板（ステッカー）の製作を再開するべく、小規模事業者持続化補助金の活用を提案。申請に係る経営計画策定のため経営状況の見直しも行った。



同社のステッカー。企業ブランド力のPRにひと役

車両看板事業の再開にあたっては、企業ブランド力のPRを企図して、屋号の商標登録マークを前面に大きく打ち出した広告チラシとノベルティステッカーを商工会でデザインした。機材導入後は、車両ステッカーの注文で売上高がおおよそ10万円増。「つけまピラー」シリーズとのセット注文も増加し、既存商品の売り上げ向上の相乗効果を生んだ。

また受注増大に対応するため新たに従業員を2名雇用。生産効率の向上で納品までの期間の短縮を図り、さらなる受注につなげていく。新工場の建設計画も進めている。

## 支援の経過

期間	支援内容
2018年5月	商標登録申請、労働保険適用手続き支援
5月～7月	経営計画の策定支援
7月～10月	機材導入と試作・商品仕様の打ち合わせ
11月～	車両看板事業の再開・PR開始
2019年3月～7月	新工場建設・移転に係る経営計画の策定支援

## 会社概要

会社名：夢街工場  
 住所：宮城県石巻市流留五性橋9-30  
 電話番号：0225-24-5275  
 代表者名：高橋秀和  
 URL：https://www.yumemachi.club/  
 創業年：1992年 従業員数：2名  
 商工会名・担当者名：石巻市牡鹿稲井商工会稲井支所  
 山下ふみ